

世界の作家が書いたミステリ小説を読んでみよう！



〈オーストラリア〉
「生か、死か」
マイケル・ロボサム／著
越前 敏弥／訳

現金輸送車襲撃事件の共犯として 10 年の刑に服していたオーディ・パーマーは、出所前夜、突如脱獄を果たす。もう 1 日待てば、自由も金もすべてが手に入ったはずなのに。彼の決断の裏には恐るべき陰謀と悲劇が…。
著者のマイケル・ロボサム氏は 1960 年生まれ。ミステリ作家。オーストラリア最高のミステリ賞ネッド・ケリー賞を二度受賞。「生か、死か」で英国推理作家協会 (CWA) 賞ゴールド・ダガー賞を受賞している。



〈台湾〉
「ぼくは漫画大王」
胡傑／著
稲村 文吾／訳

家出していた妻が自宅に戻ると、夫が殺され息子の健ちゃんは密室に閉じ込められていた…。2 つの視点から語られるストーリーの結末と事件の真犯人は？日本の漫画が事件のカギを握る、巧緻を極めた台湾ミステリー。
著者の胡傑氏は 1970 年台北市生まれ。某大学教授。「ぼくは漫画大王」で島田荘司推理小説賞を受賞している。



〈アメリカ〉「ミスター・メルセデス 上・下」
スティーヴン・キング／著
白石 朗／訳

車を暴走させて 8 人の命を奪って消えた殺人犯「ミスター・メルセデス」。いま退職刑事・ホッジズの元にそいつからの挑戦状が。異常殺人犯と不屈の男の対決がはじまる！キング初の真っ向勝負のミステリー大作。
著者のスティーヴン・キング氏は 1947 年アメリカ生まれ。74 年「キャリア」で作家デビュー。恐怖小説をアクチュアルな現代小説に再生した「モダン・ホラー」の巨匠。著書に「ミザリー」「グリーン・マイル」等がある。

2月の催しもの

とき	催しもの
5日(日)・午前11時～午後3時～	子ども科学教室
25日(土)・午後2時～	エコ工作と環境おはなし会
26日(日)・午前11時～午後2時～	子どもビデオ劇場
毎週月曜日	あかちゃん絵本よみきかせ会
毎週木曜日	あかちゃんクラブラッコールーム
4日(土) 18日(土)・午後2時～	「おはなし」と「あそび」の広場
11日(土) 25日(土)・午前11時～	

その他の本

- ◆ 〈フランス〉「ささやかな手記」
サンドリーヌ・コレット／著 加藤 かおり／訳
- ◆ 〈ノルウェー〉「その雪と血を」
ジョー・ネスボ／著 鈴木 恵／訳
- ◆ 〈ドイツ〉「ドローンランド」
トム・ヒレンブランド／著 赤坂 桃子／訳
- ◆ 〈ニュージーランド〉「アメリカン・ブラッド」
ベン・サンダース／著 黒原 敏行／訳
- ◆ 〈トルコ〉「黒い本」
オルハン・パムク／著 鈴木 麻矢／訳
- ◆ 〈イギリス〉「泉」
キャサリン・チャンター／著 玉木 亨／訳
- ◆ 〈イタリア〉「ヌメロ・ゼロ」
ウンベルト・エーコ／著 中山 エツコ／訳
- ◆ 不用図書¹の無料配布
2月18日(土)から無くなり次第終了。一人8冊まで

俳句

「春めく」
ふそう俳句会

春めくといへど木曾路は雪の中
水たたみ音をたたみて紙を漉く
ねんねこの中の子が聞くわらべ唄
会田 宗和
市川 信子
伊藤美保子

川柳

扶桑川柳クラブ

古女房極楽ゆきが希望です
梅古木宙を自在に断ち切つて
耕作地切り株並び鳥遊ぶ
山田志げ子
石田遊多伽
古田てつ子

短歌

「目白」
ふそう短歌会

春いまだ来ぬと思いを目白どち
大樹に鳴きて一斉に翔つ
『斜陽』の本閉じて見ている冬の窓
傘を持たない男濡れ行く
薄ら氷の光る庭の辺寒水仙
香り放ちて咲き揃いたり
高木 和子
村雲たみえ
松井みつ子

詩吟

「中庸」
元田東野

勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勸む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す
「意」勇気を頼みとするだけでは粗暴無分別によつて身を亡ぼし、文明に心酔すれば無節軽薄な人間になりにかねない。
常に不偏中正の道を行くのが中庸である。天下の万機(政治)は中庸から発した唯一の誠にあるのだ。

正風流二代目家元 山内 正風